

取扱いの趣旨

耳垢栓塞除去は、片側と両側それぞれに点数が設定されており、傷病名に両側である旨明確に記載がない耳垢栓塞に対する同処置「2」両側の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】

《令和6年2月29日》

69 耳垢栓塞除去（複雑なもの）（両側）の算定について

○ 取扱い

傷病名に（両）又は（両側）の記載がない耳垢栓塞に対するJ113耳垢栓塞除去（複雑なもの）「2」両側の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

処置料については、厚生労働省告示※に「対称器官に係る処置の各区分の所定点数は、特に規定する場合を除き、両側の器官の処置料に係る点数とする。」と示されており、耳垢栓塞除去の所定点数は、片側と両側それぞれに点数が設定されていることから、「両側」の算定に当たっては、その旨明確である必要がある。

以上のことから、傷病名に（両）又は（両側）の記載がない耳垢栓塞に対する同処置「2」両側の算定は、原則として認められないと判断した。

（※）診療報酬の算定方法

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	石川、兵庫、島根、茨城、長崎	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	石川、長崎、兵庫	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	茨城、島根、長崎、兵庫	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・摘要欄のコメント等より、両側に対して処置を実施していると判断できることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒審査委員長から連絡・再周知

該当件数に対する検証結果

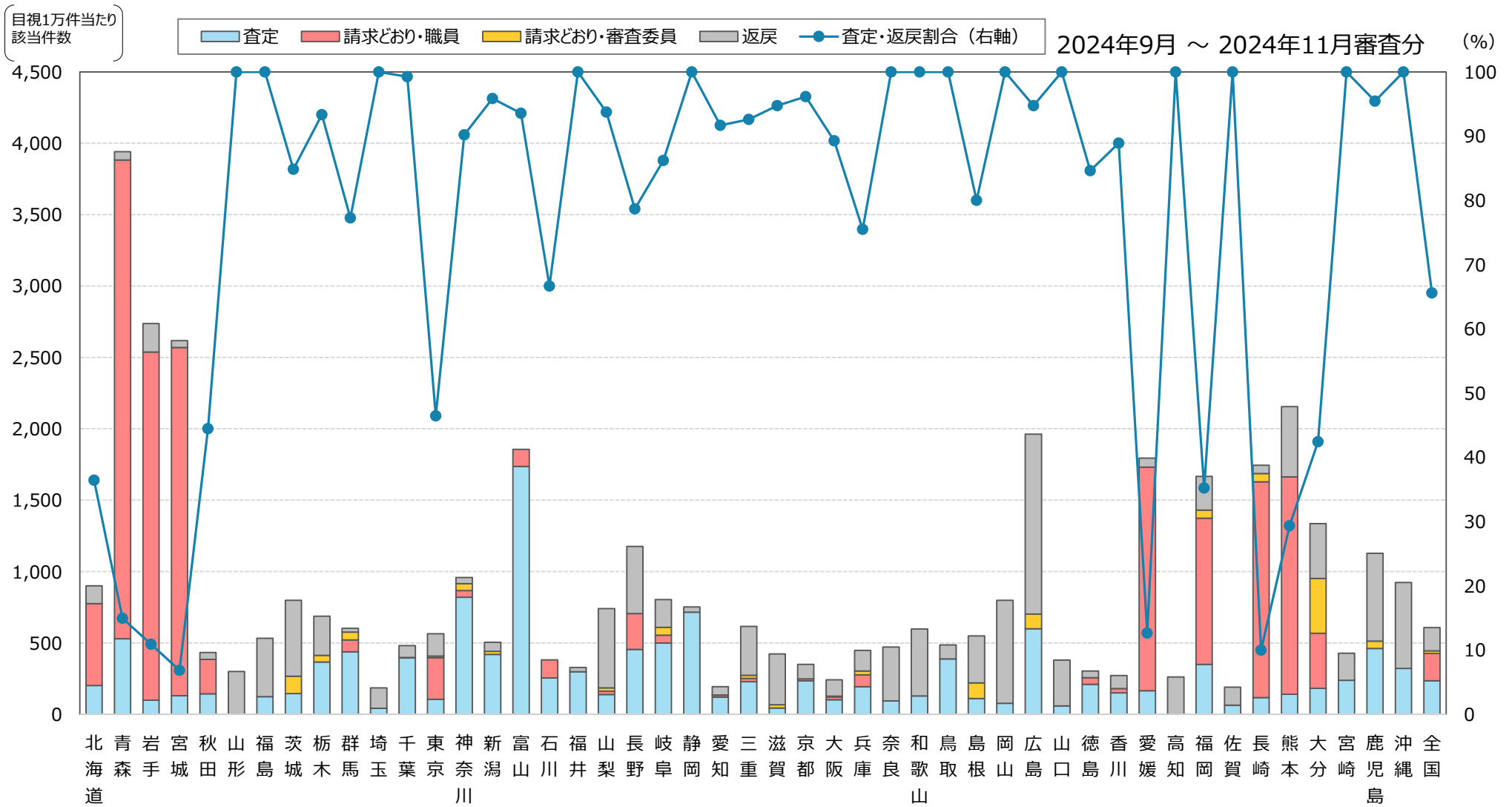
2024年9月～2024年11月審査分

検証の結果、該当件数3,203件のうち、**取扱いと異なる審査は46件（1.44%）**
検証対象22都道府県のうち、**フォローアップ対象は5都道府県**

都道府県		検証結果										
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)			
			計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻						
計	適正 審査 合計	適正審査 の割合				査定	返戻	査定 返戻 計	詳記等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員
01	北海道	129	129	100.00%	29	18	47	82	0	0.00%	0	0
02	青森	67	67	100.00%	9	1	10	57	0	0.00%	0	0
03	岩手	55	55	100.00%	2	4	6	49	0	0.00%	0	0
04	宮城	161	161	100.00%	8	3	11	150	0	0.00%	0	0
05	秋田	9	9	100.00%	3	1	4	5	0	0.00%	0	0
06	山形	3										
07	福島	13										
08	茨城	33	28	84.85%	6	22	28	0	5	15.15%	0	5
09	栃木	15										
10	群馬	22	21	95.45%	16	1	17	4	1	4.55%	0	1
11	埼玉	70										
12	千葉	133										
13	東京	536	534	99.63%	100	149	249	285	2	0.37%	0	2
14	神奈川	438	437	99.77%	375	20	395	42	1	0.23%	0	1
15	新潟	24										
16	富山	31										
17	石川	6	4	66.67%	4	0	4	0	2	33.33%	2	0
18	福井	11										
19	山梨	32										
20	長野	75	75	100.00%	29	30	59	16	0	0.00%	0	0
21	岐阜	29	29	100.00%	18	7	25	4	0	0.00%	0	0
22	静岡	63										
23	愛知	84										
24	三重	27										
25	滋賀	19										
26	京都	52										
27	大阪	214	210	98.13%	90	101	191	19	4	1.87%	0	4
28	兵庫	102	78	76.47%	44	33	77	1	24	23.53%	19	5
29	奈良	20										
30	和歌山	14										
31	鳥取	5										
32	島根	5	4	80.00%	1	3	4	0	1	20.00%	0	1
33	岡山	62										
34	広島	95										
35	山口	13										
36	徳島	13	13	100.00%	9	2	11	2	0	0.00%	0	0
37	香川	9	9	100.00%	5	3	8	1	0	0.00%	0	0
38	愛媛	87	87	100.00%	8	3	11	76	0	0.00%	0	0
39	高知	3										
40	福岡	176	174	98.86%	37	25	62	112	2	1.14%	0	2
41	佐賀	6										
42	長崎	30	27	90.00%	2	1	3	24	3	10.00%	2	1
43	熊本	92	92	100.00%	6	21	27	65	0	0.00%	0	0
44	大分	66	65	98.48%	9	19	28	37	1	1.52%	1	0
45	宮崎	9										
46	鹿児島	22										
47	沖縄	23										
全国		3,203							46	1.44%	24	22

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当

【参考】一般69 両側の記載がない耳垢栓塞に対する耳垢栓塞除去（複雑なもの）（両側）の取扱い 【認めない事例】



該当件数	129	67	55	161	9	3	13	33	15	22	70	133	536	438	24	31	6	11	32	75	29	63	84	27	19	52	214	102	20	14	5	5	62	95	13	13	9	87	3	176	6	30	92	66	9	22	23	3,203	
請求どおり件数	82	57	49	150	5	0	0	5	1	5	0	1	287	43	1	2	2	0	2	16	4	0	7	2	1	2	23	25	0	0	0	0	1	0	5	0	2	1	76	0	114	0	27	65	38	0	1	0	1,102

【該当件数】傷病名に両側である旨明確に記載がない耳垢栓塞に対し耳垢栓塞除去（複雑なもの）（両側）を算定しているレセプト件数